

癌化学療法レジメン登録用紙

レジメン名
対象疾患
診療科

Bev+mFOLFOXIRI
大腸癌
外科

催吐リスク
高度

a) 投与薬剤名と投与量、投与方法

※最大12コースまで。13コース以降はBev/5-FU/I-LV維持療法。

	薬剤名	量	投与方法
day1	①	生食50mL(持続注入ポンプ使用時)	ルート確保用
	②	生食100mL+ベバシズマブBS5mg/kg	90分で点滴※
	③	パロノセトロンバッグ0.75mg/50mL+デカドロン9.9mg	30分で点滴
	④	5%ブドウ糖250mL+イリノテカン150mg/m ²	60分で点滴
	⑤-1	5%ブドウ糖250mL+エルプラット85mg/m ²	120分で点滴
	⑤-2	5%ブドウ糖250mL+レボホリナート200mg/m ²	120分で点滴
	⑥	生食500mL+5-FU2400mg/m ²	46時間で点滴
もしくは		生食(total140mLになるように)+5-FU2400mg/m ²	46時間で持続注入ポンプにて投与
	⑦	生食50mL(持続注入ポンプを使用しない時)	15分で点滴

Bev/5-FU/I-LV維持療法(13コース以降)

	薬剤名	量	投与方法
day1	①	生食50mL(持続注入ポンプ使用時)	ルート確保用
	②	生食100mL+ベバシズマブBS5mg/kg	90分で点滴※
	③	生食100mL+デカドロン6.6mg	30分で点滴
	④	5%ブドウ糖250mL+レボホリナート200mg/m ²	120分で点滴
	⑤	生食500mL+5-FU2400mg/m ²	46時間で点滴
もしくは		生食(total140mLになるように)+5-FU2400mg/m ²	46時間で持続注入ポンプにて投与
	⑥	生食50mL(持続注入ポンプを使用しない時)	15分で点滴

※ 初回が良好なら2回目からは60分で投与可能。
2回目が良好なら3回目以降からは30分で投与可能。

b) 投与スケジュール

1コース14日

